

向こう 1 か月の天候の見通し

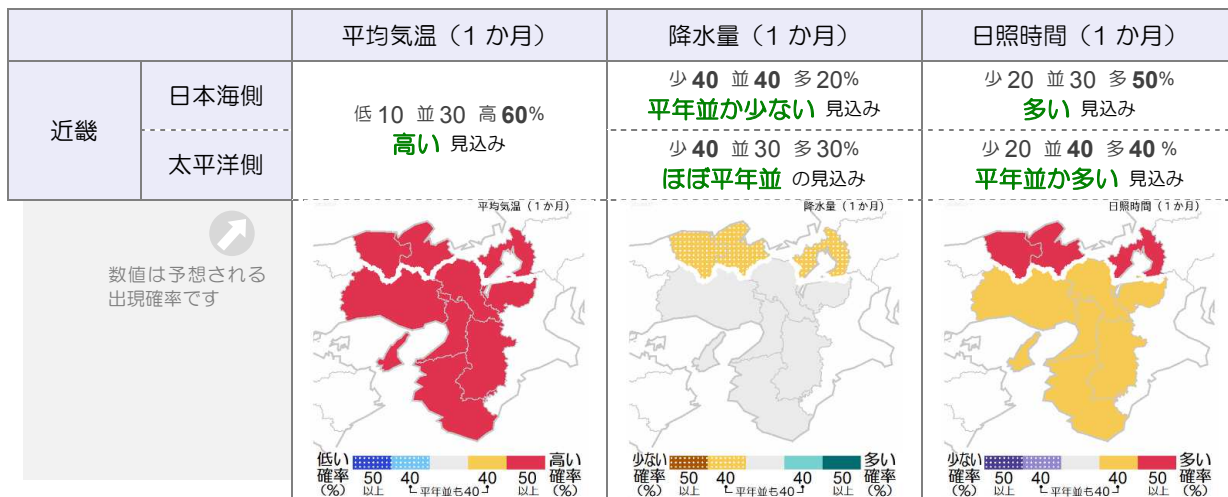
近畿地方（5 月 25 日～6 月 24 日）

大阪管区気象台

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の平均気温は高いでしょう。期間のはじめは、かなり高くなる見込みです。
- 前線や低気圧の影響を受けにくく、日本海側では、向こう 1 か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は多いでしょう。太平洋側では、日照時間は平年並か多い見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間




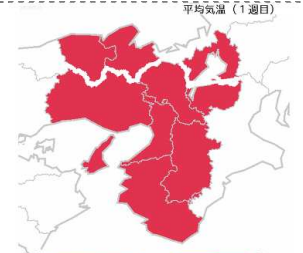
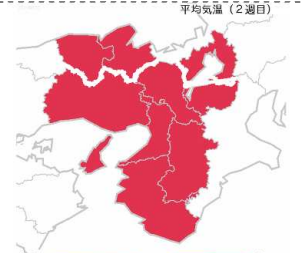




週別の天候

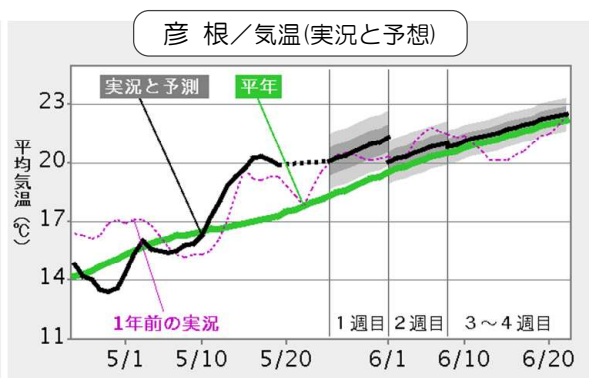
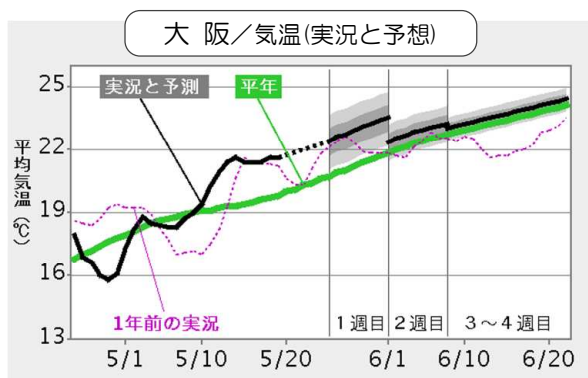
（1 週目） 5/25～31	（2 週目） 6/1～7	（3～4 週目） 6/8～21
天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多い見込みです。	日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 太平洋側では、天気は数日の周期で変わる見込みです。	低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みです。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/jp/week/>）を参照してください。


季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1週目） 5/25～31	平均気温（2週目） 6/1～7	平均気温（3～4週目） 6/8～21
近畿地方	低10 並10 高80% 高い 見込み	低20 並30 高50% 高い 見込み	低20 並40 高40% 平年並か高い 見込み
 数値は予想される 出現確率です	 平均気温（1週目）	 平均気温（2週目）	 平均気温（3～4週目）
			



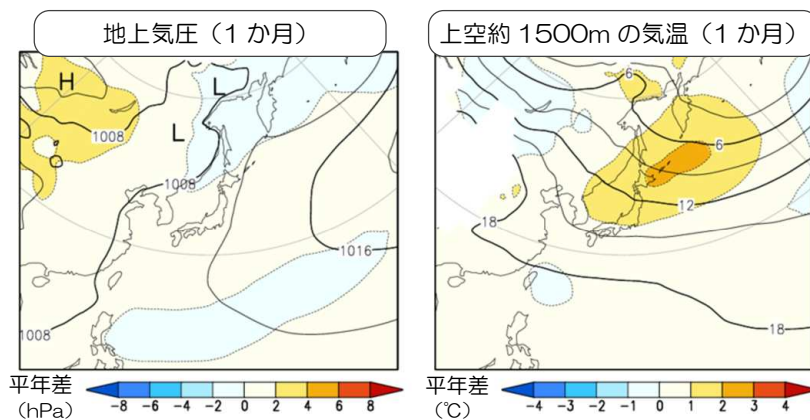
ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。


 予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本付近は平年より高い一方、沿海州からアリューシャン付近にかけては平年より低いと予想されており、北～西日本は南寄りの風が吹きやすいことを示しています。

上空約1500mの気温（右図）は、全国的に平年より高いと予想されています。



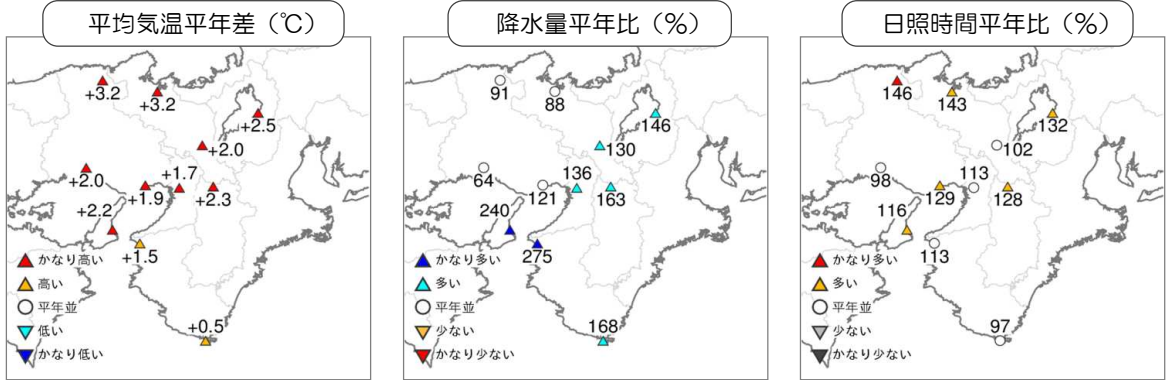
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

5/16~22

日本海側を中心に、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。20 日から 21 日にかけては、寒冷前線や湿った空気の影響で、広い範囲で大雨となり、荒れた天気となりました。

また、1 週間の平均気温は、暖かい空気に覆われた影響で、平年に比べかなり高くなりました。



（実況）5/16~22		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+2.1℃（かなり高い）	108%（平年並）	140%（多い）
	太平洋側		162%（多い）	112%（平年並）

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）	平均気温（1 週目）	平均気温（2 週目）	平均気温（3-4 週目）
近畿地方	平年差：-0.2~+0.3℃	平年差：-0.4~+0.6℃	平年差：-0.3~+0.5℃	平年差：-0.2~+0.4℃
彦根	20.1~20.7℃	18.3~19.4℃	19.6~20.5℃	21.0~21.7℃
大阪	22.3~22.9℃	20.8~21.9℃	21.9~22.8℃	23.1~23.8℃

	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
近畿日本海側	平年比：75~111%	平年比：93~111%
近畿太平洋側	平年比：80~107%	平年比：94~109%
彦根	102.0~147.4mm	151.7~178.7 時間
大阪	99.3~148.4mm	152.3~179.3 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	14.5 日	9.2 日	4.1 日	2.0 日	4.0 日	1.9 日	6.4 日	5.3 日
大阪	14.6 日	8.9 日	4.1 日	1.8 日	4.0 日	1.8 日	6.5 日	5.3 日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並；高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50% 以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50% 以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が 50% 以上	低い（少ない）見込み